


県道御衣野下野代線、四日市多度線の進捗状況とその効果について

倉本 宗弘 議員
(草莽) 桑名市・桑名郡選出



問 県道御衣野下野代線と四日市多度線の先には工業団地が存在しますが、両路線ともに狭隘な部分がある中で、工場にアクセスする大型車両が近隣の住宅地を通り抜けていくことが多くなっています。両路線を道路改良することで、工業団地の利便性を高め、住環境も改善できると考えますが、県の考えをお聞かせください。



答 県道御衣野下野代線と四日市多度線は、桑名市北部の工業団地と幹線道路を結ぶアクセス道路であるとともに生活道路としても重要な路線であり、現在は用地測量と用地買収を実施しています。両路線の整備については、引き続き桑名市や地元との協力を得ながら、早期の工事着手に向けて、事業を推進します。

その他の質問事項


- 資源高・物価高について
- 警備警備について

ほか



交通弱者対策について

中瀬 信之 議員
(新政みえ) 度会郡選出



問 公共交通が脆弱な地域では、車の運転免許証を返納した高齢者等の交通弱者にとって、移動することが大きなネックとなります。市町は、独自に地域交通への対策を実施していますが、多くの住民が、快適な移動や市町をまたいだ移動を望んでいます。県は、市町をまたいだ移動対策についてどのように考えているのかお聞かせください。

答 市町をまたいだ移動については、県は広域路線バス、市町は生活交通圏の路線バスの確保・維持という役割分担をふまえて取り組んでまいりました。また、県も参画する各地域公共交通会議等で検討を行い、市町をまたいだ運行をしている事例もあります。今後も、市町間における連携の取り組みを促進し、移動の機能強化を図ってまいります。



その他の質問事項

- 知事の観光政策の思いについて
- 来年度以降の選手強化対策について

ほか



道徳教育について

服部 富男 議員
(自由民主党) 三重郡選出



問 先日、病気で視力を失った男性が、バス通勤の際に地元の小学生たちに11年間にわたって支えられたという「小さい手のリレー」と呼ばれる話を聞きました。道徳教育においては、自分で考える力、心や人間力を育てる教育を大事にしていただきたいと感じるものでした。そこで、県が進める道徳教育について伺います。



答 小中学校の道徳教育では、学級でのグループ活動や幼児や高齢者など多様な人々と触れ合う機会を増やし、その体験を通して、他者を思いやる心の育成を図っています。今後、相手の気持ちを想像し、その人の置かれた状況に心を配る人間性や、他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性が育まれるよう、市町と連携して取り組んでいきます。

その他の質問事項

- 次世代モビリティ等の活用について
- 水田農業振興について

ほか



七里御浜海岸侵食について

谷川 孝栄 議員
(草莽) 熊野市・南牟婁郡選出



問 七里御浜海岸の侵食が著しく、その対策に毎年多額の予算が必要となっております。中でも井田海岸は待ったなしの状態です。今の鶴殿港ができて以降、浜の石は段々と小さくなり、その石が高波に乗って国道や住居に打ち付けています。このような熊野灘の大きな潮の流れによる自然災害への対応は、国の直轄事業化が必要と思えますが、県の考えをお聞かせください。



答 侵食対策として、波浪を低減させる人工リーフの整備と砂利浜の維持を図る養浜を併せて行っています。残事業が膨大であり多額の費用と年月を要することから、本年も5月に国へ直轄事業化を要望しました。今後も侵食対策を推進するとともに、早期の事業完成に向けた直轄事業化について国に働きかけを続けていきます。

その他の質問事項

- 近畿自動車道紀勢線と紀伊半島アンカールートの進捗状況について
- 三重県大麻取扱者指導要領について

ほか

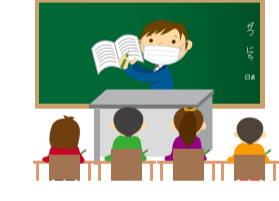


明日の「みえ」の教育について

田中 智也 議員
(新政みえ) 四日市市選出



問 国は、小学校高学年での教科担任制について、優先的な対象教科を外国語・理科・算数・体育とした上で導入を進める方針で、定数配置のための予算措置を行いました。学級担任制が主体となっていて、現状においても教員は不足していると思えますが、三重県での配置状況と、既に教科担任制を導入している学校の現状と課題についてお聞かせください。



答 県内の小学校では、全体の1割強となる42校で教科担任制の取り組みを進めており、市町や学校からは、学習に主体的に取り組む児童が増えたなどの効果を聞いています。一方で、担任以外の教員の配置が必要になりますので、今後も、引き続き国に対して必要な定数の拡充を要望してまいります。

その他の質問事項


- 「みえ」の経済活動を支える四日市港について
- 明日の「みえ」の芸術・文化について

ほか



国道260号道路改良事業について

村林 聡 議員
(自由民主党) 度会郡選出



問 南伊勢町を横断する国道260号は、船越バイパスが令和8年度に開通予定です。一方、東宮坂隧道は幅員が狭く大型車両がすれ違うことができず、沿線の1市3町がそろって国へ予算要望を行うなど、改良に向けて地域の熱意が高まっています。そこで、東宮坂隧道の改良が今後どのように進められるのか、お伺いします。



答 現在は、老朽化が進むとともに耐震化が必要な東宮坂の架け替え工事を行っており、今年度中には新橋が開通する予定です。残る東宮坂隧道を含む区間については、来年度以降、調査設計に着手する予定であり、引き続き用地取得や予算確保等について地元との協力を得ながら、国道260号の未改良区間の早期整備に努めてまいります。

その他の質問事項


- 総合的な視点からの持続可能な林業の実現
- 畜産業の飼料価格高騰対策について

ほか



情報のバリアフリー化、電話リレーサービスについて

小島 智子 議員
(新政みえ) 桑名市・桑名郡選出



問 令和2年、「聴覚障害者等による電話利用の円滑化に関する法律」が成立し、昨年7月から電話リレーサービスが公共インフラとして使えるようになりました。しかし、当事者を含め社会の認知が進んでいないなど、普及に向けて壁があるようです。今後このサービスを利用する方は少なくないと考えますが、どのように周知啓発をしているのか、県の考えをお聞かせください。



答 三重県における現在のサービス登録者数は、聴覚障がいのある方の2%程度にとどまっています。今後、三重県聴覚障害者支援センターにおいて個別相談を実施するなど、利用者登録を促進するとともに、広く県民に向けては、セミナーや出前授業などのさまざまな機会において周知啓発を図ります。

その他の質問事項

- 性暴力のない三重県に！
- 県民の力を課題解決の力に！

